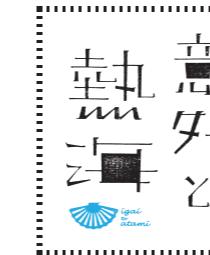


まちみ通信

<https://www.ataminews.gr.jp/>

「意外と熱海」は、熱海に訪れた人の「意外とよかったです!」の声を基に、まだまだ知られていない意外な熱海の魅力をお届けします。



まちみ通信

<https://www.ataminews.gr.jp/>

「意外と熱海」は、熱海に訪れた人の「意外とよかったです!」の声を基に、まだまだ知られていない意外な熱海の魅力をお届けします。





南熱海のあたたかな陽さしを受けて育つ熱海だいだい。海を見下ろす山々に、畑が広がる。

熱海だいだい“を訪ねて”

意外と日本一の生産量 熱海の山の恵み



熱海の山は、 日本一“だいだい”がとれる山

熱海のまちの中心部から、バスで約15分。伊東へ下る途中の多賀、網代とよばれる通称南熱海のエリアは、昭和の雰囲気を残すレトロなお店や、狭い路地裏、渚のリゾート感あふれるまちの雰囲気とはうって変わって、どのかな山と海に囲まれた自然のめぐみにあふれる温泉地です。

のんびりとした庶民的な風情がありますが、網代は、かつて「京、大阪に江戸、網代」と、並べられるほど栄えた港町でした。江戸から大阪、日本各地を結ぶ航路の途中で立ち寄る港として、多くの廻船が停泊し、まちはにぎやかに。船宿には多くの人が滞在し、交流が生まれたことで、熱海に新しい文化がもたらされました。

その一つが、今や熱海が日本一の生産量を誇る柑橘、“だいだい”です。だいだいは、江戸時代末期、網代港に立ち寄った紀州の船乗りたちが食べていただいだいの種を、地元の人が保存し、植えたのが始まりだと言われています。特に網代の隣まち、多賀は、だいだいを植えるのに適した山並みが広がり、果実が付きやすかったことから、畑がどんどん広がりました。今では多賀を中心に、伊豆で多く栽培されるようになりました。特に熱海で収穫されるものは、“熱海だいだい”として注目されています。

熱海に持ち込まれて広がったものは、実はだいだいだけではありません。明治の初めには、レモンが海外から熱海に持ち込まれ、種が植えられました。これが日本のレモンの始まりだと言われています。熱海の山と海の恵みは、人と人の交流を生み、こうした新しい文化を育

てきました。

熱海をはじめ、年間を通して温暖で自然に恵まれた伊豆半島では、ニューサマーオレンジ(日向夏)、みかん、甘夏、ポンカンなど、多くの柑橘類が栽培されています。熱海、そして伊豆は、実は柑橘のまち、柑橘王国なのです。

正月飾りでおなじみ 木から落ちない縁起の良い果実

熱海では知らない人はいない、熱海だいだい。観光で訪れる多くの人には、あまりなじみのない果実のようですが、実は、日本では古くからの習慣に使われていて、一度は見聞きしたことがあるはずです。ご存じでしょうか。

正月飾りのしめ縄や鏡餅に使われている柑橘は、正式には、みかんではなく、実は、だいだい。「橙(だいだい)」の語源は、「代々」で、冬に熟した実が春になっても落ちず、そのまま木についていることから、「代々続く」の意味で、だいだいと名付けられたと言われています。そのため、「代々家が栄える」という縁起の良い果物として、正月飾りに用いられてきました。赤色と黄色の中間のような“だいだい色”も、熟しただいだいの果実の色からています。今では名前はあまり知られていませんが、だいだいは、意外と身近なところで古くから親しまれてきた果実なのです。

樹齢2千年以上の大楠があり、パワースポットとして有名な熱海の来宮神社にも、だいだいとの深い縁があります。来宮神社の神様が熱海に来られた際に、「麦こがし・だいだい・ところ・百合根」をお供えしたところ、大変喜ばれたという古記が伝わっているそうです。来宮神社

近くの商店街のお菓子店や飲食店では、これらの神社の縁のある食材を使用したスイーツがメニューに加えられ、福が来る“来福スイーツ”として親しまれています。

熱海だいだいの産地、多賀 ポン酢、マーマレードは家庭の味で

熱海だいだいの産地、多賀では、11月頃から、熱海だいだいの収穫が本格的に始まります。ポン酢用には、酸味や香りが強い青だいだい、正月飾り用には、果実の形が良く、きれいに色付いただいだい、正月飾りの出荷が終わると、少し甘味が増したマーマレード用のだいだいと、用途によって収穫時期をずらし、出荷されます。

熱海で最も多くの熱海だいだいを生産している倉田家は、1500年程前から続く農家。4代目の見平さんの元には、東京の高級料亭が直接熱海だいだいを買付けに来るほど、その品質が評価されています。

熱海だいだいの多くはお飾り用に出荷されますが、

枝が付いていて、見た目がきれいな状態の物を選ぶため、廃棄が多いのが課題でした。それを解決するために始められたのが、マーマレード作り。奥様のとし子さんが一つ一つ手作りしていく、今ではお土産として、親しまれるようになりました。

多賀では、家でとれた熱海だいだいを、マーマレードにしたり、ポン酢にしたり、それぞれの家庭の味で楽しんでいますよ」と、とし子さん。お勧めの食べ方について聞くと「私は健康のために、だいだいマーマレードを、ヨーグルトに入れて毎朝食べています。肉にも合うので、スペアリブや、焼肉のタレに使うとコクが出ていいですね」とアレンジメニューを教えてくれました。

美容成分や香りの効果にも期待 山の恵み、熱海だいだいの新たな活用

正月飾りやポン酢、マーマレードが主な用途だった、熱海だいだいですが、今、新たな活用についても

期待が高まっています。だいだいは、実はもちろん、葉や花など、いろいろな場所から精油がとれる香りの宝庫。だいだいからとれる精油は、香りがよくリラックス効果が高いと、人気があります。その成分に注目し、だいだい精油のアロマブランド SWITCHme を立ち上げたのは、植田翔子さん。「手入れがされ放置された畑も多く、もったいない。上手く活用することで、農園が存続し活性化につながれば」と、熱海だいだいの可能性を語ります。

熱海だいだいについて、料理研究家の長田紗さんには、「爽やかな香りは食欲を刺激してリラックス効果もあり、さまざまな食材とマッチします。含有量の多いビタミンCは、美肌や風邪予防、ストレスの抑制などにも効果的、クエン酸は疲労回復効果も期待できます。だいだいと温泉で美肌相乗効果が期待できると思います」と期待を寄せます。熱海の山の恵み、熱海だいだいの可能性はどんどん広がります。

正月飾りは、縁起のよいだいだいで！

正月にくる年神様を早くお迎えしようというの、正月飾りの始まり。家の玄関などに飾られる「め飾り」に使われるものは、だいだいで、代々持つてあげる」という縁起物を意味します。今ではみかんが使われることも多いのですが、縁起物であるだいだいで、正月を迎えるのが本来の習わしです。



海の絶景とだいだいスイーツが楽しめる新しいカフェもできて話題に



來宮神社の神様の好きな物の一つがだいだい。ご利益あります。



多賀の農家では、11月末から収穫が始まる。一つ一つ大切に摘み取り、出荷。



熱海の飲食店では、地魚とともにだいだいを使用した料理が味わえる。

熱海だいだい

熱海市多賀の山で多く栽培される。11月末から収穫が始まり、黄色く熟すのは1月頃。酸度が高く、ビタミンCも豊富。実や葉、花からとれる精油はリラックス効果が高いと注目されている。



5月、白い花が咲く。
精油にもなる希少なもの。



7月末。
実はまだ青く小さい。



12月のだいだい。
実は大きくなり色づく。

橙マーマレードを製造 倉田とし子さん

倉田さんが手作りをする「橙マーマレード」は熱海ブランド A-PLUS にも認定される確かな味。「レシピは試行錯誤して、今、の味になりました。無添加で保存料も使用していないので、安心ですよ!」



アロマミストを開発 植田翔子さん

(株)anyitの代表、植田さん。あたみマルシェの実行委員を務めていた際に、だいだいに出会い、その力に驚き、起業。「だいだいが注目され、地域の活性化につながれば、気軽に購入できるものも開発中なんですね」とビジネスを開拓している。





料理の名脇役 だいだいを 熱海の味に。

日本一のだいだい産地、熱海の多賀の家庭では、昔からだいだいを、ママレードやピール漬け、ポン酢にして、活用してきました。また、近隣の飲食店では、地魚などの食材を引き立てる名脇役として様々な料理に活用してきました。特に冬の収穫シーズンになると、見かけることが多くなります。

香りがよく、酸味がきいて、魚や肉などの食材を引き立てるだいだいは、まさに熱海の味。熱海でも意外と知られておらず、残念ながら観光で訪れる人のニーズも“地魚を食べたい”が主で、だいだいの知名度はまだです。

そこで、「熱海で代々受け継がれ、愛されてきた、だいだい。“熱海の味”としてPRして、もっとたくさんの人に親しんで欲しい」と、まちの人たちが協力。“熱海だいだいプロジェクト”が始まりました。

だいだいの可能性を広げるために、地元の農家と、料飲食組合、JAあいら伊豆、商工会議所、熱海市が連携。まち中の飲食店が新メニューを考案しました。

テーマは、“親子代々で楽しめるヘルシーな料理”。またリピーターが多く訪れる熱海で、“代々愛される一品”。熱海産のだいだいだけを使用し、およそ3ヶ月に渡って試作を何度も行い、和・洋・スイーツ、各店の特長を生かしたメニューを作り上げました。

アドバイザーとしてメニュー開発に協力したのは、料理研究家の長田紘さん。今回は、地域創生事業ブランナーとしての経験も活かし、プロジェクトに参加しました。「熱海で愛されている名店の料理人の皆様は、お客様に喜んでもらえるメニューを作ろう」と常に研究熱心です。一緒に素材と真剣に向き合って試行錯誤をして、各店の熱海らしい料理が生まれました。だいだいは、様々な食材にマッチして料理を引き立ててくれる名脇役です。爽やかな酸味、素材の旨みを引き立て、鼻に抜ける香りと風味が楽しめます。熱海ならではのどこか懐かしく奥深い風味を伝承するためにも、多くの方に味わっていただきたいです」

各店自慢の味を、どうぞお召し上がりください。



料理研究家 長田紘さん

横浜出身。「食べることは生きること、食を通じて健康と幸せを！」を理念に、株式会社Japan Food Expertを設立。食の大切さを伝える講演や料理教室、商品開発やレシピ制作、テレビ番組の出演や執筆活動、飲食店経営を行う。県や市町村の6次産業推進や地域活性化のための新商品開発講座講師や地域創生事業ブランナーなど、食の分野で幅広く活躍中。

<http://www.jfe-aya.jp>

1 だいだいがさわやかに香る前菜 だいだいを使った前菜盛り合わせ [1080円]

イタリアンレストランMON

*写真は2名分

地元の魚や野菜を使用したメニューが自慢のイタリアン店。ホワイトソースにだいだい果汁を合わせ、だいだいマヨネーズをのせた“だいだいクリームのささえ”“地鰐のマリネ”。三種の前菜が見ロッケ”、だいだい果汁と、ほどよく効いただいだい胡椒が素材のあまみを引きだす“マグロと赤イカのセビーチェ”、鰯とだいだいマヨネーズの組み合わせが新しい“だいだいマヨネーズのささえ”。

住／熱海市渚町7-15
電／0557-81-2212
営／11:30~14:00、
17:00~21:00 (LO20:30)
休／月、祝日の場合翌日休
席／20席



3 だいだい白玉が、意外なおいしさ！

あたみだいだい便り [3024円]

(前菜3種盛り、天ぷら6品、小鉢、ごはん、汁、香の物、デザート)
てんぷら 鶴吉



マップは「熱海を食べる」P.7, P.9 参照⇒
お店の詳細は「あたみニュース」でチェック!
<https://www.ataminews.gr.jp/event/358/>



2



シャレの効いたおしゃれな一品

橙だけど俺んじのポキ [500円(単品)] [1000円(丼、みそ汁、小鉢)]

熱海まぐろや

熱海の水産会社直営の店だから、自家製ドレッシングで味付けしたボキは、オイルや塩にもこだわりぬき、さわやかな酸味が効いて、単品でも、丼でも美味。単品は、カクテルグラスで、おしゃれにどうぞ。

住／熱海市田原本町9-1
熱海第一ビルB1
電／0557-83-1880
営／11:00~15:00 (LO14:30)
16:00~18:00 (LO17:30)
休／水、他月2回不定休 席／18席



*価格は税込(2018年1月現在) *季節や仕入れにより掲載のメニューが提供できない場合があります。

料理の名脇役
だいだいを
熱海の味に。



4 家族代々で味わいたい和のご膳

代々繁栄御膳 [ランチ2500円、ディナー3500円]

(干物、サラダ、造り、煮物、強肴、温物、食事、水菓子)
かいこうじょくせん かまする
海幸樂膳 釜つる

創業160年の釜鶴が、親子五代、と長ひじきを使用。山と海のもの代々続いていることにかけて、だいだいを、アチャビとだいだいのドレッシングでいただく。だいだいの刺身のジュレ、煮物の葉味、茶碗蒸し、シャーベットの5品を使用。わやかな風味の御膳は、まさにこだわりのサラダにはおかひじき家族代々で味わうのにぴったり。



6 ドライだいだいで花火のような彩り!

サンビーチ花花パフェ [1200円]
カフェアジール
Café Agir

サンビーチから見える熱海名物の花火が開くような、華やかさを表現したパフェ。だいだいを目でも楽しめるようにと、ドライにしたのは初めての試みで、彩りのよい仕上がりになっている。

住/熱海市田原本町8-5
電/0557-83-3412
営/9:00~18:00(LO)
休/なし
席/32席



だいだいと肉で、美人になる!?

三種の黒毛和牛とだいだい三昧ランチ [2700円]

南海苑

だいだいと肉で“美人になろう!”と考案。黒毛和牛三種は、だいだいポン酢と塩タッ、だいだい胡椒入り。デザートのバハロアは、だいだいのさっぱりとした風味が広がって、焼肉後のデザートアクセントで取り入れ、肉のおいしさを引きだしている。わかめスープは女性にうれしいコラーゲン入り。デザートのバハロアは、だいだいのさっぱりとした風味が広がって、焼肉後のデザートアクセントで取り入れ、肉のおいしさを引きだしている。

住/熱海市渚町12-7
電/0557-83-2972
営/12:00~14:00
17:00~23:00
休/月
席/20席



7 お家で楽しむだいだいレシピ!

イカメンチのだいだい胡椒チヂミ

お魚すり身の店 山田屋

熱海で唯一の蒲鉾工房“山田屋”では、自宅で手軽に、だいだいメニューや楽しめていただくために、オリジナル商品“イカメンチ”

“だいだい胡椒”を使用したチヂミのレシピを作成し、紹介。

<http://yamadaya-web.co.jp/pdf/no11.pdf>

まだまだある!
だいだいグルメ

10 多賀の山に併むケーキ屋。

だいだいシフォンは、香りがよくふわふわ。



橙シフォンケーキ
[ホール1000円、
1/4カット250円]
かるふーる

住/下多賀1702-1213
電/0557-67-6060
営/11:00~18:00
休/火・水休 席/12席

13 無農薬の野菜を使用したランチが人気。テラスには足湯コーナーも。



だいだいガトーショコラ
[550円(ケーキセットはコーヒーor紅茶で900円)]
Vegetable Dining&Cafe KINOWA 季の環

住/熱海市西山町42-11
電/0557-82-8511
営/10:30~18:00(LO 17:00)
休/食事は11時半~
休/月、第2・第4日休 席/25席

16 地元の丹那牛乳や伊豆の素材を使用。
すべて店で手作り。



熱海プリン
[だいだいソースと千年井田塩付
350円] タイクアウト
熱海プリン

住/熱海市田原本町3-14
電/0557-81-0720
営/10:00~18:00
休/不定休

17 だいだいスイーツが豊富にそろう。
熱海紅茶(橙入り)と一緒に。



橙のファンダンショコラ
[550円]
来宮神社 報鼓

住/熱海市西山町43-1
電/0557-82-2241
営/8:00~18:00(平日)
9:30~16:30(土日祝)
休/無休 席/50席以上

18 だいだいを蜜漬けにして
風味豊かな杏仁豆腐に。



だいだい杏仁
[280円] テイクアウト
一楽

住/熱海市田原本町5-5
電/0557-85-7222
営/9:00~17:30
休/不定休

マップは「熱海を食べる」P.7, P.9 参照⇒
お店の詳細は「あたみニュース」でチェック!
<https://www.ataminews.gr.jp/event/358/>



お土産に

熱海ブランド A-PLUS

A-PLUSで紹介しているのは、厳しい審査を通過した商品だけというこだわりぶり。だいだいを使用した名品は、熱海を代表する人気商品ばかりです。熱海グルメを堪能したいならぜひチェックを!

熱海コレクション A-PLUSショップ

住/田原本町11-1 ラスカ熱海 1F 電/0557-81-0411
営/9:00~20:00 休/なし

http://www.e-sites.jp/web/aplus_pc/



JAあいら伊豆

JAが自信をもってオススメするおいしいモノが大集合! どれもこだわりの農家が育てた風味の高いだいだいを使用しているのが特徴です。地元農家が守り続けている熱海ならではの味わいをぜひお楽しみください。

JAあいら伊豆 下多賀支店

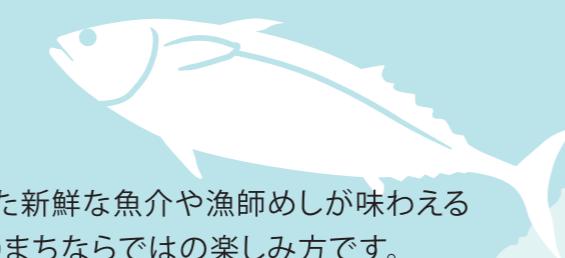
住/下多賀894-1 電/0557-68-3111
営/8:30~17:00 休/土・日・祝、12/31~1/3

※価格は税込(2018年1月現在) ※季節や仕入れにより掲載のメニューが提供できない場合があります。



\魚が主役の一品/

南熱海 朝どれグルメ



熱海駅からバスで約30分、網代・多賀のエリアは、網代港で朝水揚げされた新鮮な魚介や漁師めしが味わえる食ツウが通うまち。海岸線をドライブしながら朝どれの地魚も味わう、海のまちならではの楽しみ方です。

掲載メニュー提供時間帯 ランチ ● ディナー ○

郷土料理 イカメンチを食べよう！

その昔大量にとれたというイカを使用した網代の郷土料理、イカメンチ。網代の家庭では必ず食卓にならぶ一品です。イカメンチ、網代の家庭では必ず食卓にならぶ一品です。イカだけではなく、鰯などの魚の刺身が入っているなど、店ごとにレシピが異なり、それぞれの味が楽しめます。イカメンチのレシピやお店情報はこちら

伊豆網代温泉観光ナビ <http://www.ajirospa.com/ikamenti/>

伊豆東海バス(主なバス停)

1 和ダイニング あじあじ
○ あじあじ定食(2000円)
店主が毎朝漁港で目利きする魚を、一番おいしそうな魚で味わうのがソツ。フライか煮付けは選択。
住/網代279-31 電/0557-68-1204 営/12:00~14:00、18:00~22:00 休/火

2 笑ぎよ
○ 漁師の一本釣り活イカ刺(時価※およそ2000円～)
地元漁師と提携し、一本釣りしたイカを、生きたまま店内の生け簀で泳がせているから、鮮度抜群！さばきたてのイカがいつでも味わえる。
住/網代55-8 電/0557-68-0663 営/11:00~14:30 (LO)、17:00~20:00 (LO) 休/水、最終週火・水連休

3 味くらべ
○ 網代の海鮮丼(2100円)
網代の海に、店独自の定置網を持っているので、市場にも並ばない新鮮な魚が食べられる。丼ぶりには、旬のネタがたっぷり。活イカもある。
住/下多賀491 電/0557-67-1065 営/11:00~15:00 (LO14:00)、17:30~20:00 (LO19:30) 休/水

4 旬蔵
○ すしとめ 多賀店
JAあいら伊豆 下多賀

5 漁師めし 味里
○ 渔港定食(1080円)
イカメンチや鰯のたたき、ウズワなど、昔ながらの郷土料理が味わえる店。定食は地魚3種類、イカメンチ、地サバみそ煮付でボリュームたっぷり。
住/網代27-208 電/0557-67-4000 営/11:00~21:00 (LO20:30) (ランチ11:00~14:30) 休/火

6 漁師食堂 川忠
○ 朝どれアジフライ定食(1900円)
海が一望できる創業40年の老舗食堂。「せっかく網代にきたなら美味しいものを！」とご主人。おなつかが膨らみ、脂がのったアジフライはサクサク！
住/網代627-204 電/0557-67-1669 営/8:30~21:00 (LO20:30) 休/火

7 源泉湯宿 大成館
○ お箸で食べる源泉湯宿フレンチ(8790円)
※1日限定2組、全金約制
75年の歴史を誇る老舗宿で、地元の魚介類で丁寧に作られた本格フレンチコースが味わえる。かけ流し日帰り温泉入浴付きの、贅沢なプラン。
住/下多賀141 電/0557-68-2221 営/16:00~21:00 休/木、金、土

8 漁師家 大次郎丸
○ 大次郎丸定食(2160円)
毎朝、店主が網代漁港で目利きする魚が自慢。秋にはウズワも。定食は、地魚の刺身と自家製イカメンチでボリュームがある。持ち帰り弁当も人気。
住/下多賀434-1 電/0557-67-5963 営/7:00~9:00 (水木以外) 11:00~15:00 (LO14:30)、17:00~21:00 (LO20:30) 休/水、火夜

9 あじろ食堂
○ 本日のお刺身定食(1620円)
初島や大島も眺められる席で、網代の海の幸が味わえる。魚があるうちに早くに行くのがオススメ。刺身は波まかせ4点盛り。日帰り入浴もある。
住/網代627-506 電/0557-67-1515 営/10:00~19:00 (魚がなくなり次第終了) 休/不定休

10 海辺の湯の宿 平鶴
○ 新鮮な刺身定食(1620円)
網代の朝どれ魚も使った刺身4点盛り。アジとイカをたたいた「鮫」といかのタタキになります。(194円) も漁師町の一人として人気。日帰り入浴もある。
住/下多賀493 電/0557-67-2221 営/11:00~14:00、17:30~19:30 休/不定休

11 ニューとみよしかまめし亭
○ ながはま膳(3300円)
海鮮五目かまめし、地魚の刺身5点盛り、イカメンチがついた地元食たっぷりの膳、4800円の『食事処利用』海一望展望露天風呂大浴場B級グレードの旅プランが一番人気。
住/下多賀1472-1 電/0557-67-0017 営/11:00~14:00 (LO13:30)、17:00~20:00 (LO19:00) 休/不定休

12 みやこ荘
○ 鮭すし58貫(握り)(3000円程度)
昭和39年開店の老舗。大将が一人で切り盛りし、常連客が多い。地アジをシメずに入生のままで握り、たっぷりのネギとしょうがをのせた鮭すしが名物。
住/下多賀903-3 電/0557-68-1305 営/17:00~20:00、土曜日12:00~14:00、17:00~21:00 休/火・水、その他(※来店前に要確認)

13 新時の家
○ 鮭の刺身(800円～)
おふくろの味を楽しみにやってくる地元客でにぎわう店。女将があたたかくもてなす、その日仕入れた地魚を、家庭の味で提供する。
住/下多賀134-1 電/0557-68-0800 営/19:00~24:00 休/月(祝日の場合火)

14 浜料理 藤哲
○ 網代定食(1620円)
魚屋直當だから魚介類が新鮮でリーズナブル。干物店では浜焼きも楽しめる。定食はイカメンチと刺身がつき、海が見える広い店内で味わえる。
住/網代627-93 電/0557-67-1147 営/9:00~17:00 休/無休



南熱海 日帰り温泉

湯量が多く良質な、網代と多賀の温泉。

海が一望できる露天風呂や、家族で楽しめる貸切風呂など、様々な風呂が日帰りで楽しめます。食事付の休憩プランもあるので、旅のプランに合わせて訪れましょう。

7 源泉湯宿 大成館
○ 1080円
敷地内に自家源泉があり、良質な湯が毎分100㍑も湧く。源泉かけ流しの湯は、1階の大浴場、藏造りの湯「潮」または木造りの湯「雅」で楽しめる。
住/下多賀141 電/0557-68-2221 営/14:00~20:00 休/無休

10 海辺の湯の宿 平鶴
○ 1080円
熱海・湯河原を一望できる露天風呂は、源泉を地下300メートルから直接ひき、24時間かけ流し。昼食と日帰り入浴、個室が付いた休憩プランも。
住/下多賀493 電/0557-67-2221 営/11:00~16:00、18:00~19:45 休/12月と6月に1回ずつ

11 ニューとみよし
○ 1000円(浜の湯)、3600円(貸切露天風呂50分)
温泉露天風呂の湯は、ナント家庭用入浴剤130個分という成分の濃さ！6つの貸切展望露天風呂で、目の前に広がる海景色をひとり占めできる。
住/網代627-506 電/0557-67-1515 営/10:00~16:00 休/不定休

12 源泉湯宿 大成館
○ 1080円
敷地内に自家源泉があり、良質な湯が毎分100㍑も湧く。源泉かけ流しの湯は、1階の大浴場、藏造りの湯「潮」または木造りの湯「雅」で楽しめる。
住/下多賀141 電/0557-68-2221 営/14:00~20:00 休/無休

13 あじろ磯舟ホテル
○ 2700円(2名向け1室)、3780円(4~5名向け1室)
自家源泉の湯は、ナント家庭用入浴剤130個分という成分の濃さ！6つの貸切展望露天風呂で、目の前に広がる海景色をひとり占めできる。
住/網代627-506 電/0557-67-1515 営/10:00~16:00 休/火、月、日

14 妙楽湯
○ 1000円、2500円(酵素風呂)
川のせらぎが心地よく響く、自然豊かな山あいにたたずむ日帰り温泉施設。「酵素風呂」は、体の芯まであたたまり、新陳代謝も活発になると評判。
住/下多賀1118-8 電/0557-67-5256 営/10:00~20:00(最終受付19:00)、酵素風呂は18時まで 休/火、月、日

*価格は税込(2018年1月現在) *季節や仕入れにより掲載のメニューが提供できない場合があります。
写真は2016年9月撮影時のものです。地魚のため旬のもので内容が変更になる場合があります。

熱海
まち中

地魚グルメ

刺身、寿司、干物、煮付け。熱海の店では、熱海や近海でとれた新鮮な魚介を、さまざまな調理方法で味わうことができます。その日の水揚げによってメニューも変わるので、何度も訪れたくなります。別荘族の行きつけもあり、予約がベター。

掲載メニュー提供時間帯 ランチ ● ディナー ●



1 株式会社L&Sみやま
● C 金目煮定食(2484円)
創業10年。金目鰯の煮付けは変わらぬ懐かしい味でずっと愛され続けている。昼食にと開店からわざわざ食べに来るお客様もいるそう。
住／田原本町8-12 電／0557-52-3200 営／11:00～15:00 (LO14:20)、17:00～20:00 (LO19:00) 休／火



2 飲み食い処 山洋水産
● C 金目煮定食(1730円※税込)
旅館や寿司店に魚を納める魚屋が営む居酒屋。熱海の干物と、地魚をはじめとする7種の旬の刺身が味わえるお得な定食が大人気。
住／銀座町8-11 電／0557-81-1135 営／12:00～14:30ごろ、18:00ごろ～22:30ごろ 休／水



3 釜めし・串の店 味くら
● C サザエの壺焼(1個 432円※夜限定)
熟練の料理人が付きっきりで炊き上げる釜めしが看板商品。秘伝ラテで焼く熱海のサザエは酒肴にぴったり。ランチタイムは丼も提供。
住／田原本町8-5 電／0557-83-7321 営／11:00～14:00 (LO)、17:00～21:00 (LO) 休／不定休

4 淡島のたたき定食(2268円※夜限定)
現在3代目、66年続く老舗店。生糞から揚げてすぐ、生きたままいただくアヒのたたきの定食はボリューム満点で一番人気のメニュー。
住／渚町3-3 電／0557-81-4323 営／11:30～15:00、17:00～23:00 休／水(予約によって変動)

5 飲み処・飲み処ひざ花
● C 店自慢の刺身盛り合わせ(1080円)
タクシーの運転手さんもおすすめの「熱海で安心して飲める店」。「朝どれの魚はその日のうちに」と新鮮地魚を豪快な厚切りで提供!
住／中央町11-2 電／0557-85-3329 営／17:00～食材がなくなり次第終了 休／不定休

6 たたき竜田
● C 地あじ和風ビビンバ定食(1250円)
創業以来約40年、和洋食の幅広いメニューで地元に愛される名店。活アジと梅味噌の和風ビビンバは、意外な相性にリピーター続出!
住／中央町5-3 電／0557-81-3751 営／11:00～14:00 (LO13:30)、17:00～22:00 (LO21:30) 休／月

7 レストランクレール
● C 白身魚のソテートマトソース(1840円※夜限定)
アットホームで居心地の良い、フレンチのお店。ソテーはその日の朝市場に並んだ新鮮な地魚をカツと焼き、トマトソースでさっぱりと仕上げる。
住／渚町1-1 電／0557-81-8467 営／11:30～15:00 (LO14:00)、17:30～21:00 (LO20:00) 休／火

8 味里

9 三松鮓

10 みつはし

11 食事処さくら

12 海幸山幸イタリア料理 torattoria TEMPO D'ORO atami

13 和食処 喜八

14 イタリアンレストランMON

15 あたみ茶屋



10 みつはし
● C 刺身盛り合わせ(2160円～)
新鮮な旬の地魚を豊富にそろえる魚料理のお店。他では飲めない貴重な日本酒「月見」「亀の翁」などが味わえる。各界の著名人が訪れるのも。
住／中央町14-3 富岡第一ビル2F 電／0557-82-3284 営／11:45～14:00、17:00～21:00 休／不定休



11 食事処さくら
● C アジフライ定食(1000円)
母娘で営むビーチ近くのほっこり食堂。サクサクふんわりのアジフライ定食は、ほんのり柑橘が香る自家製ソースがこだわり。
住／渚町18-10 電／0557-83-0024 営／11:30～14:00 (LO13:30)、18:00～20:00 (LO19:30) 休／不定休



12 海幸山幸イタリア料理 torattoria TEMPO D'ORO atami
● C 地物 海の幸をアドリア海沿岸風の煮込み料理にプロットディベッジ(2～3人前)(2780円※夜限定)
ホテル出身のシェフが地元食材にこだわり腕を振るうイタリアン。煮込み料理は、その日仕入れた地魚の種類に合わせて味付けが変わる。
住／福道町3-24来宮神田ビル 電／0557-52-6065 営／11:00～15:00 (LO14:00)、17:00～22:00 (LO21:00) 休／不定休



13 和食処 喜八
● C きめの煮付け定食(2160円)
漁師町生まれの働き者のおばあちゃんと板前息子さんが切り盛りする和食屋。下田の金目鰯を使った煮付けは、何度も通いたくなる味。
住／中央町3-14 友栄ビル1階 電／0557-82-9388 営／11:30～14:00、17:00～21:00 休／不定休



14 イタリアンレストランMON
● C 朝獲れ地魚のカルパッチョ(1620円)
観光客だけでなく熱海に住む人もよく訪れる本格イタリアンレストラン。朝とれた魚を見て決める地魚メニューの他、サクサクのパイ生地風ピザも人気。
住／渚町7-15 電／0557-81-2212 営／11:30～14:00、17:00～21:00 (LO20:30) 休／木、祝日の場合翌日休



うまい鮨勘 热海支店

◎● 金目丼(2678円)味噌汁つき

朝どれ新鮮地魚のメニューや一品料理がそろう寿司店。熱海の金目鯛を生・漬け・炙り・ポン酢・ユッケの豪華4種で味わえるのは熱海支店だけ! 住/中央町1-2 電/0557-86-5251 営/[火~金]11:30~22:00(L021:30) [土日祝]11:00~22:00(L021:30) 全日15:00~17:00中休み 休/月※月曜が祝日の場合翌日休



1
寿司処 初川 ◎● ぱらちらし(1080円)※数量限定 (バラダ・味噌汁・お湯蒸しき)
夜も明朗会計だから若者のカウンターデビューにおすすめの店。酢飯にあらゆるネタがのった赤り切れ御免の丼は、スプーンで豪快にいただこう。
住/中央町14-11 電/0557-83-7933 営/11:30~15:00, 15:00~23:30(L023:00) 休/水



十文字秀信さん

長澤 大地さん



4
天ぷら鶴吉 ◎● 鶴吉(2500円)※数量限定 (先付・赤出汁・香物つき)
季節の地魚や地野菜を、素材ごとに一番おいしいタイミングでさっくりと揚げる技はまさに熟練。ダシの入った関西風の味わいはコクがあり美味。
住/中央町11-1 電/0557-86-2338 営/11:30~14:30(L014:00), 17:30~21:00(L020:00) 休/木

まご茶亭 ◎● あじなどんぶり(1500円)
(小付・味噌汁・味噌汁・甘味つき)
併優の故・阿藤快氏がプロデュースした丼。干物とタタキ、2種類の鰯が楽しめる。こだわり小鉢の3点セット(+500円)も人気。
住/中央町17-14 電/0557-81-3063 営/11:00~15:00(L0) 休/不定休



5
和食処 天匠 ◎● おまかせ丼(2800円)味噌汁つき
地元の金目鯛を使った料理は煮付け・炙り焼き・刺身・しゃぶしゃぶなどラインナップが豊富。丼は朝どれ魚が十数種類ものった豪華な一杯。
住/清水町4-16 電/0557-82-3383 営/11:30~14:30, 17:00~21:30 休/木



熱海 まち中 地魚どんぶり

まち歩きとともに楽しみたいのは、熱海の海鮮グルメ。

中でもどんぶりなら、さまざまな種類の魚介が手軽に楽しめます。熱海魚市場から仕入れた魚介や近海の海の恵みをたっぷりのせた、店主自慢のどんぶりをお楽しみください。

掲載メニュー提供時間帯 ランチ ◎● ディナー ◎●



6
熱海海だらや
くじらの丼(2500円)味噌汁つき
季節の地魚や地野菜を、素材ごとに一番おいしいタイミングでさっくりと揚げる技はまさに熟練。ダシの入った関西風の味わいはコクがあり美味。
住/中央町11-1 電/0557-86-2338 営/11:30~14:30(L014:00), 17:30~21:00(L020:00) 休/木



7
和食処 天匠 ◎● おまかせ丼(2800円)味噌汁つき
地元の金目鯛を使った料理は煮付け・炙り焼き・刺身・しゃぶしゃぶなどラインナップが豊富。丼は朝どれ魚が十数種類ものった豪華な一杯。
住/清水町4-16 電/0557-82-3383 営/11:30~14:30, 17:00~21:30 休/木



うおなお亭

◎● うおなお亭(1550円)味噌汁つき

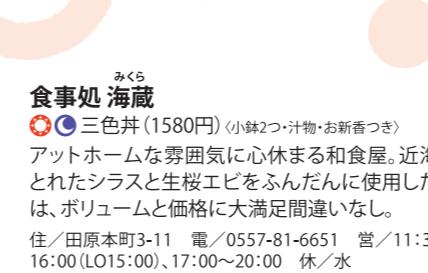
元寿司屋の仲良し夫婦が確かな目利きで仕入れる天然のアジは、親子3世代のリピーターがいるほど。丼は酢飯がなくなり次第終了の幻メニューや。
住/清水町14-8 電/0557-83-2993 営/11:30~14:00(L013:45), 17:00~21:00(L020:30) 休/水



食事処 海藏

◎● 三色丼(1580円)味噌汁つき

アットホームな雰囲気に心地まる和食屋。近海でとれたシラスと生桜エビをふんだんに使用した丼は、ボリュームと価格に満足度違いなし。
住/田原本町3-11 電/0557-81-6651 営/11:30~16:00(L015:00), 17:00~20:00 休/水



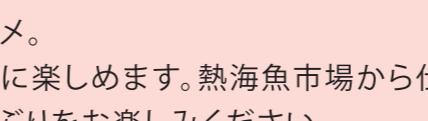
8
ひょうたん ◎● 海鮮重(1550円)味噌汁つき
家族経営で創業70年を迎えた老舗。地魚入りの珍しい海鮮重は、自家製そばとのセットもある。伊豆の本わさびを使った地魚天然にぎりも自慢。
住/渚町16-4 電/0557-81-3194 営/10:30~20:00(L0) 休/火(予約により変更あり)



9
木村 環さん



山田 貴也さん



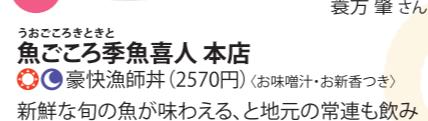
柿田 武史さん



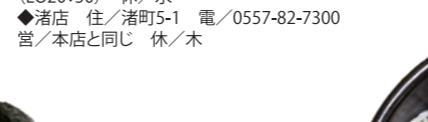
10
内山 栄二さん



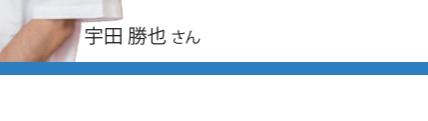
11
内山 栄二さん



12
蓑方 肇さん

13
内山 栄二さん

14
宇田 勝也さん

15
内山 栄二さん

マップはP.6 参照。

お店の詳細は「あたみニュース」でチェック!

<https://www.ataminews.gr.jp/event/358/>

熱海で 魚を味わう

伊豆半島の入り口、熱海。穏やかな海は好漁場で、温泉観光地として栄える熱海の食を支えてきました。まち中では、1888年に天皇陛下の御用邸が設けられて以降（※現在は廃止）、政財界の重鎮、彼らの舌を満足させようと、グルメを磨いて来ました。まち中エリアと、通称、南熱海と呼ばれる網代・多賀エリア、それぞれの海の魅力です。

網代の海と、魚

熱海の程やかな海。熱海、伊豆山、網代、初島といつが港がある中でも、網代は古くは「京、大阪に江戸、網代」と言われたほど名が知られ、江戸時代には西から江戸に向かう駆船が寄港する風待ちの港として栄えました。

網代は、相模湾からの深海が湾の近くまで入り込む、伊豆東海岸随一の天然の良港といわれ、古からアジやイカの他、マコやアリモといわれるほど、豊富な水揚げ量を背景に、櫛節の加工や、魚の加工も盛んとなり、太陽と潮風が最も運んだ環境でつくられる網代の干物は、名物に。最盛期、早朝から夜遅くまで店の灯りがともり、多くの客が行き交った通称「ひもの銀座」と呼ばれることも。網代の料理店では、旬の朝どれ魚介を「ズナブル」に味わうことができます。

現在では、築地で「唯一」とも言われる朝どれの魚は、かつて江戸と名を連ねた網代を復活に導くかもしれない期待されています。

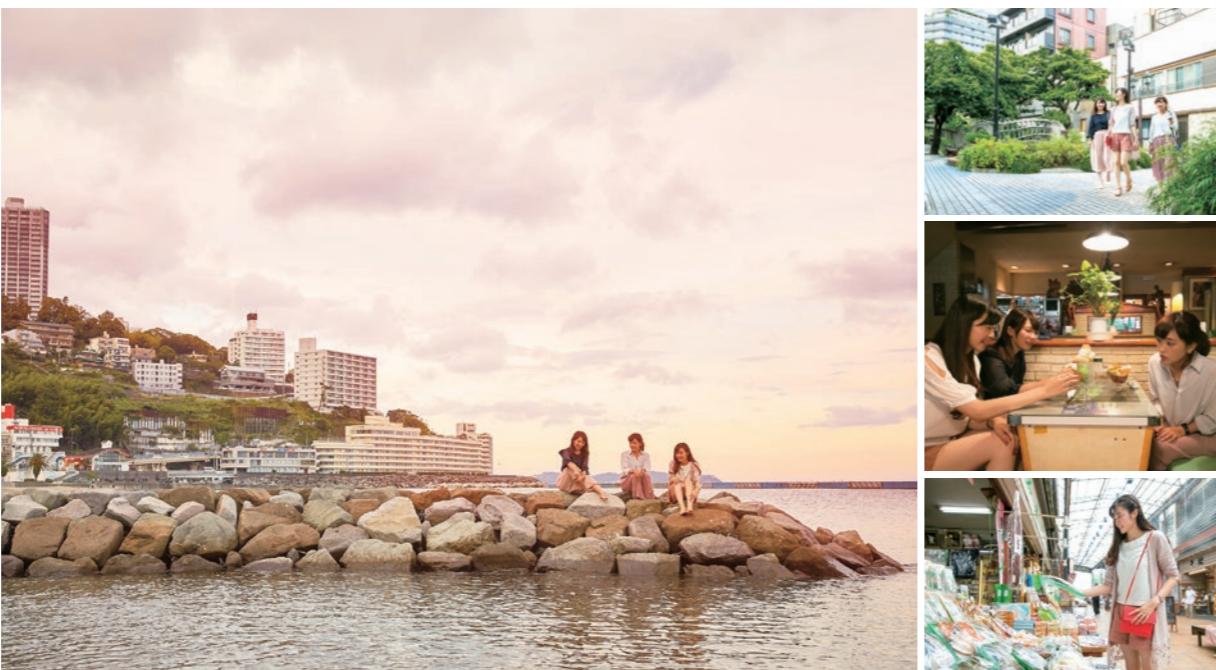
熱海のまち中は、網代をはじめ、伊豆の新鮮な魚が豊富。まち中の飲食店がならぶ一角にある熱海中央市場には、毎朝新鮮な魚が届き、「ここから運ばれる魚は、旅館やホテル、まちの飲食店で使われます。

地魚を使う飲食店は、まち中にいくつもありますが、チキン店が少なく、どれも小さな個人店なのが特徴です。わずか3万8千人の人口に対しても飲食店の割合はとても高く、通り沿いはもとより、路地裏にも小さなお店がいくつもあります。和食や寿司だけでなく、洋食、フレンチ、中華など、いろいろなジャンルの料理店が選択可能。魚店直営でリーズナブルな店やカウンター席席のみの店、大将と話しながら楽しめる店など、個性も豊か。「一品一品手づくり」であったからこそなしてくれます。地魚を鮮に味わえるのが、まち中の魅力。

好みの料理で、熱海の「海」を味わいつくそう！



歩いて、まちとグルメを楽しむ



熱海のまち中には、穏やかなビーチ、歴史的建築物の起雲閣、樹齢2千年を超える大楠に出会える來宮神社、自分で温泉卵が作れる「小沢の湯」、レトロな喫茶店、熱海の新鮮な魚が味わえる飲食店まで、まるでの魅力がギュッと凝縮されています。

旅のスタートは熱海駅から。熱海駅を出るとすぐ右側に温泉街があり、食事処やみやげのお店が並んでいます。銀座商店街は、最近はリバーショーンされたおしゃれな、ゲストハウスらしさながら、新旧の魅力が楽しめる通りになっています。

銀座商店街から坂を下ると、目の前は海。サンビーチから親水公園は映画やテレビのロケにも使われる景観で、早朝から夜まで散歩が楽しめる気持ちの良い場所です。周辺の店でスイーツを買い、食べ歩きをすれば旅の会話を弾みます。

熱海は一年中花が楽しめますが、特に糸川遊歩道は月下旬からあらためてライトアップが楽しめる小路です。周辺には飲食店やスナックが多く、昼から夜遅くまで、熱海の食事が楽しめます。春・夏にはアゲンニアが咲き、花とタラメの散策路として地元の人々に大切に手入れされ、親しまれています。

坂が多い熱海のまち、「湯一遊」バスなら、約40分でまち中をぐるり一周。バス途中下車して、点在するお墓子屋をめぐるのも人気です。



ドライブで、魚と自然を満喫



熱海から伊豆半島の先端まで続く海沿いの道や、雄大な富士山が見える箱根への道は、ドライブだからこそ楽しめる熱海の魅力です。

まち中のサンビーチから南へ、車で約10分。熱海多賀火山の名残を残す「錦ヶ浦」は、碧緑の海と断崖が見事な名勝。錦ヶ浦を見下ろす高台のガーデン「アカヘーブ＆ローズガーデン」では、バラやハーブなど季節の花と海の絶景が楽しめます。そこから南へ約10分。

やだいだいなど、農産物が豊かなまち。種やかな海の前に広がる「うみえ〜る長浜」は、ドライブの休憩場所にもぴったり。定期的に開催される特設市場では、地元産の食材を使ったグルメを味わうこともあります。

さらにも、南へ約5分ほど行くと、漁師町、網代へきます。漁港とともに暮らしてきたまちには、網代の魚やひもの銀座とされる干物街、古くから伝わる郷土料理が味わえるお店がいくつもあります。朝、水揚げされたばかりの新鮮な魚が味わえるので、お昼に行って、少し歩いて干物を干す店をのぞいたら、ランチを食べたり、日帰り温泉で、網代の温泉につかるのもうススメです。

海だけでなく、意外と山も魅力的なのが熱海。駅から車で約30分の十国峠からは富士山が望め、日暮れると、沼津など、伊豆の美しいまちの夜景が星空のように眼下に広がります。十国峠から富士山を見るなら、秋から冬がベストシーズン。ここでしか見ることができない、富士山とまちの美しい景色です。



晴れた日に網代を歩くと、魚を干す昔ながらの風景が見られることもできます。また、南へ下れば、伊東、稲取、河津、下田と、伊豆半島の名所めぐることができます。